

技能実習生を受け入れての取り組み

～夜勤が出来るまでの道のり～

特別養護老人ホーム片岡杉の子園

介護士 原科 裕一

技能実習生受け入れる経緯

新卒・中途採用共に求人募集が少なく、時間外労働が増えたり、利用者様の余暇活動ができない状態が続いていたので技能実習生を受け入れる事となった。

技能実習生受け入れ前の職員の心情

**他の施設や、テレビで話題になったので
技能実習生の存在は知っていたが先入観か
らあまり良いイメージも無く、
何より指導する手間が増えるイメージしか
無かった。**

技能実習生を受け入れる為に

・ **Wi-Fi環境の整備**

令和4年2月

・ **介護記録ソフト利用開始**

令和4年5月

技能実習生受け入れ開始

令和4年9月

最初は外国人という先入観を職員が持っていたが...

入社後 1 番に 2 人を受け入れたのは利用者様だった。



**対応が難しい認知症の利用者様が技能実習生と仲良く話をしている姿を見て職員はとても感心しました。
全ての言葉は伝わることも技能実習生の人柄と意欲で言葉の壁を越えることができるのを知った。**

**技能実習生達も意欲的な為、職員もどんどん仕事を教えるようになった。
イベント事には必ず参加してもらい、日本文化と共に利用者様と交流ができた。**

イベント(そば打ち)



『出来立てはおいしいよ♪』
とても喜ばれていました☆

皆さん食べながら2人の
事を褒めていらっしゃい
ました☆



イベント(夏祭り)



利用者様と一緒に皆でインドネシアの踊りや、夏祭りを楽しみました☆

イベント(お茶会)



**施設長が表千家の講師なので、着物も
着てもらい、日本の文化に触れてもら
いました☆**

利用者様も抹茶を喜ばれていました♪

イベント(その他)



・イチゴ狩り

・運動会

・子供の日

夜勤を実際に行ってみて ～現状～

特養ユニットに配属になった技能実習生は夜勤を行っている

特養・ショート混合ユニットへ配属になった技能実習生は夜勤はまだ出来ていない。

理由として

特養配属実習生

- ・ 分からない事は自分から聞き、メモを取るので覚えが早い
- ・ 混合ユニットに比べて職員の配置人数が多いので、マンツーマン指導が多くできた

特養＋ショート混合実習生

- ・ メモを取るように話をするが、返事はしても実際は取らずに業務をする為色々とミスが目立つ。
- ・ ショートの荷物チェック等、手書きで行う物や相談員や家族とやりとりをしたり技能実習生では業務的に難しい面がある。
- ・ 新卒者を優先して指導をしていた。

特養配属技能実習生				
	技能実習生		職員A(中途採用)	
年月日	勤務	内容	勤務	内容
令和4年9月	A	排泄・入浴		
令和4年10月	B	日勤研修	B	日勤研修
令和4年11月	B	日勤研修	B	1人立ち
令和4年12月	B～A	途中から補助業務	遅番	遅番研修
令和5年1月～6月	B	1人立ち	令和5年3月夜勤研修	令和5年4月夜勤1人立ち
令和5年7月	早番	研修		
令和5年8月	早番	1人立ち		
令和5年9月～11月	遅番	研修		
令和5年12月	遅番	1人立ち		
令和6年1月	夜勤	研修		
令和6年2月	夜勤	研修		
令和6年3月	夜勤	1人立ち		

特養の勤務時間と簡単な業務説明

A:8:00～17:00(利用者様や施設に慣れる勤務)

B:10:00～19:00(PM入浴介助や排泄・食事介助)

早:7:00～16:00(AM入浴介助や排泄・食事介助)

遅:13:00～22:00(排泄介助や就寝介助・記録打ち込み)

夜:17:00～翌10:00(食事・排泄介助や就寝介助)

特養＋ショート混合配属技能実習生				
	技能実習生		職員A (新卒)	職員B (パート)
年月日	勤務	内容	勤務	内容
令和4年 9月	A	排泄・入浴 (職員と)		
令和4年 10月	C	排泄・入浴 (職員と)		早番研修
令和4年 11月	C	排泄・入浴 (職員と)		早番研修
令和4年 12月	C	排泄・入浴 (1人立ち)		早番 1人立ち
令和5年 1月～7月	C		令和5年4月 新卒入職 4月～7月早番研修	
令和5年 8月～9月	早番	早番研修後 10月より 早番1人立ち	令和5年8月～9月 B1(日勤ショート) 研修	
令和5年10月 令和6年4月	B2(日勤) ショートと別		令和5年 10月～12月 遅番研修	
令和6年 5月	遅番	研修	令和6年2月 夜勤研修	
令和6年 6月	遅番	1人立ち	令和6年5月 夜勤1人立ち	

特養＋ショートの勤務時間と簡単な業務説明

A:8:00～17:00(利用者様や施設に慣れる勤務)

早:7:00～16:00(AM入浴介助や排泄・食事介助)

遅:13:00～22:00(排泄介助や就寝介助・記録打ち込み)

夜:17:00～翌10:00(食事・排泄介助や就寝介助)

B1:10:00～19:00(ショート入退所の受け入れや排泄介助)

B2:10:00～19:00(入浴介助や排泄・食事介助)主に夕方の退所が4人以上いる時の勤務。

特養配属

- ・ 令和6年1月より夜勤研修スタート→3月には1人で夜勤ができるようになる。

特養＋ショート混合

- ・ メモを取るようになり、少しずつショート業務以外は出来るようになった。
- ・ ショート利用者様が入れ替わりで来ることで状態の把握が難しい。
- ・ 令和6年1月より退職者が続いたことにより、夜勤研修で人を配置するよりも、現状でできている勤務で自分のやれる幅を広げてもらうように指導している。

2人の差は何か？

- ・ **特養は毎日同じ利用者様なので、最初は対応につまずいても回数をこなすことで対応ができる。**
- ・ **ショートの利用者様は日替わりで変わるので、その都度臨機応変な対応が求められる。**
- ・ **ショートの利用者様の方がADLは良いが認知症も強く出る方もいらっしゃるので、日本語が不十分だと対応が難しい**

工夫した事

・ 業務について

新人の指導をする時に使用するチェックシートを使用し、どの職員が付いても進捗具合が分かるように工夫をした。

業務マニュアルも漢字が多いため、1つ1つにルビを振り見やすいように工夫をした。

・ 言葉の壁について

2名とも意欲的なので、分からない事は都度聞いてきて教えているが、その他分からない日本語・医療用語・方言については現場のiPadで本人が調べていた。

その他のサポート

- ・ **管理団体の方のサポート**

問題のあることや、担当に言いにくいことは管理団体の担当の方に相談し解決する形をとった。

〈今後の課題〉

☆ **3年目以降、継続して働いてもらう為にはどうしたら**

☆ **技能実習生や特定技能を受け入れるにあたって
の教育体制**

☆ **夜勤帯での吸引が必要な利用者様の対応に関して**